

① 財政

平成30年9月定例会

Q 市内にある役所がかかわる財団や株式会社、公園や協会など、将来の財政運営のため全体を見渡すように1つの施設管理公社にすることは考えられないか。

A 石川財政課長

現在、組織を1つにすることは考えていないが、姉妹都市であるアメリカのシャンバーグ市のように、施設管理を一元的に行う都市があることも承知している。このような一元的に管理を行う組織の場合、一般的には人件費の抑制、維持管理費用の減少、管理ノウハウの伝承など行われるメリットが考えられる。

② 福祉

令和3年3月定例会

Q 医療的ケア児の子どもたちの通所や預かりができる保育園、認定こども園などの事業所にはどのような条件が求められると考えるか。

A 石川福祉介護課長

医療的ケアを必要とする子どもを保育園や認定こども園で受け入れる場合には、個々の状況に応じた医療的ケアを行うことが必要となり、吸引、経管栄養、導尿、気管切開部の衛生管理など、子どもの主治医が指示する処置を専任で対応できる看護師の配置と、医療的ケアに関する研修を受講した保育士の配置が必要と考えられます。併せて、医療的ケアを必要とする子どもは、体力や抵抗力が低い場合も想定されることから、感染防止を心がける必要があり、場合によっては、極力、人の出入りが少なく衛

生が保てるような環境整備が必要ではないかと考えている。

Q 医療的ケア児を預かることは命を預かることから、万全の体制で臨まなくてはならない。あらゆる不安要素をなくすためには行政の指導的役割が強く求められる。法的整備を含め行政が指導的立場で取り組んでいくことは可能か。

A 石川福祉介護課長

医療的ケア児を預かるには、市や保育園など関係機関が十分に協議し、万全の体制で受け入れるためのマニュアル作りが必要であり、今後、他市町村における取組状況なども参考にして、十分研究していきたい。現在、認定こども園で2名の園児を預かっている。

③ 健康

令和2年12月定例会

Q コロナ禍の中で胃カメラの受付が大変少ないと思うがどうか。

A 結城市民健康センター所長

10月末現在、検査件数は1千172件で、昨年比に比べ511件、30.4ポイント減少している。

Q 婦人科の検診が非常に受診しにくい。胃カメラと、子宮がん、乳がんを富山県健康増進センターで受診できるように契約はできないか。

A 結城市民健康センター所長

現在、子宮がんと乳がんの無料クーポン券、それと、胃、大腸、肺の無料クーポン券の対象者のみとしているが、それ以外の単独がん検診でどれだけ受入れが可能か調査して検討していきたい。また、検診については、市と医師会の先生方との連携、協力で成り立っているため、先生方の意見を伺いなが

ら努めていきたい。

令和3年から提案されたがん検診は、富山県健康増進センターで受診できるようになっている。

④ 観光

令和元年12月定例会

Q 観光船キラリンの氷見航路は、氷見まで船で行き、どのように帰るのかを想定して設定されたか。不透明な宣伝ではないか。

A 網谷観光課長

氷見で観光を楽しんで、バスで滑川まで帰ることを想定し、まずは片道運航とした。観光船と観光バスの利用は旅行業法の許可をもらっているところでないといけない。今後は、市内の旅行業者に商品として扱ってもらい、PRしていければと考えている。現在、氷見と新湊航路を実施している。帰りはバスか船で帰宅コースを選んでいきます。

Q ダイバーの皆さんが滑川に来られる。海の中で魚を見る、このことについて漁業関係者と話し合いや合意はできているか。片やお楽しみ、片や生活。立場が全然違うことの認識はあるのか、伺う。

A 網谷観光課長

漁業関係者との正式な協議はしていないが、今後ますます増えると予想されるダイバーとのルールづくりなどの検討は当然必要になると認識している。現在、ダイバー業者と漁業関係者と協議の上実施している。

⑤ 教育

令和2年3月定例会

Q ICT教育にこれまで以上に力点が置かれる時代になった。子どもたちが何をどこまで使いこな

す学習を目指しているか。システムエンジニアの人を、指導者として学校に配備できないか。

A 広田学務課長

キーボードでの文字の入力、電子ファイルの保存、整理、情報の閲覧、情報の送受信や共有などの基本的な操作を確実に身につけさせること。また、各学校のニーズや実態に応じ、コンピューターコーディネーターを派遣したりする。現在、コンピューターコーディネーターを教育センターに2名採用し、滑川中学校、早月中学校を中心に各小学校にも派遣している。

令和3年6月定例会

Q 小学校学校図書館への蔵書検索ソフトの導入について伺う。

A 椎名学務課長

検索システムによってかなりの時間が短縮しているような学習ができるとなれば、検討していきたい。ただいま、来年度予算要求に向けて、どのような検索システムが良いか検討中。

A 上田市長

この教育のまち滑川において、遅れをとっていることが分かった。検索システムを組み、学校同士のつながりも行う。

Q 1食だけでも有機米や有機野菜の食材で献立はできないか。

A 黒川農林課長

市内では上梅沢有機米研究会の方々が、減農薬した米を作っておられることもあり、今後相談し、給食調理場とも調整し、できれば学校給食に提供していきたいと考えている。今年、新米を300kg、10袋を予約し、年度内中に有機米の給食を提供する予定。



レストラン田円さんから江尻町内へ進める市道の新設。ほたるの里への食材搬入トラックが、橋から道路幅が狭いため小さな接触キズが絶えないことや救急車が進入しづらいことと、江尻の町内への道路がないなどで新しく下梅沢江尻2号線を新設。H24年度完成。



一歩ずつ着実にこれからも

県道滑川上市線。H13年から下梅沢町内のPTAの皆さんと滑川警察署に出向いて横断歩道の書き替えの要望書提出。その後、信号の待避場所の設置、信号機設置。H26年度に完成。

市道柴・常光寺線、常光寺踏切改修（遮断機・警報機設置）から有金東台への市道拡幅。この改修にあたっては、農家の方に農業用踏切を撤去してもらい、H27年度完成。



県道黒川滑川線、上島町内より融雪装置の要望が出されました。通学路がせまく悪路であったため、町内会長が署名活動を行い、全員（町内会長・PTA会長・県議・開田晃江）で新川土木センターに要望活動を行いました。市・土木課と県とで検討の結果、歩道の整備をすることで安全で安心な道路としてH23年度完成。



中滑川駅前エリア整備事業について

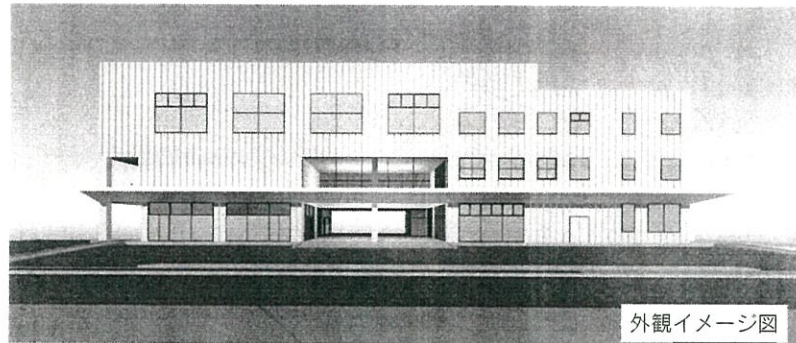
(仮称)中滑川複合施設建設工事につきましては、令和3年8月4日に条件付き一般競争入札を行い、5日に仮契約を締結しました。

多くの市民の皆さまが憩い、そして交流の場となるよう賑わいを創出する施設として整備するとともに、近年、激甚化する災害に備えるため避難スペースをはじめ備蓄倉庫など必要な防災機能も確保するものであり、災害に強い施設として、市民の皆さまに信頼され、幅広い世代の方々に利用していただける複合施設となるよう、令和4年9月の完成を目指し、鋭意取り組んでまいります。

市長提案理由説明より

契約金額：1,201,200,000円

契約の相手方：佐藤工業・古橋建設共同企業体



外観イメージ図



1階イメージ図



3階イメージ図

滑川海浜公園の整備について

滑川海浜公園には、トイレや炊事場を備えたバーベキュー施設やオートキャンプができる「キャンプ場ゾーン」、やぐらやベンチを備えた富山湾から立山連峰までを360度見渡せる「展望の丘ゾーン」を設け、自然に親しみ、体験や学習を通じ集える広場とするほか、富山湾岸サイクリングコースの休憩スポットとしても整備を進めることとします。令和3年9月議会で承認可決されれば令和5年3月完成予定。

【参考イメージ】

キャンプ場



バーベキュー施設



炊事場



平成13年11月に皆さまの大きなご支援をいただき議会に送っていただき、早20年が経過致しました。今日まで支えてくださった皆さま方に心から感謝とお礼を申し上げます。

私の政治信条と致しまして、初心忘るべからず『響き合う 心と心の町づくり』のため全力を尽くしてきました。これからすべての子どもたちの成長を楽しみに、住民福祉の向上と、安全安心の町づくりに向かって努力を続けます。

私たちの先達者が築き上げられた滑川市を、皆さまと共につくる「住みよい町滑川」のため子どもたちには『ゆめ』、お年寄りには『生きがい』、若者には『信頼』、女性には『ほほ笑み』、このために走り続けます。

コロナ禍で閉塞感が拭いきれない中、市民の皆さまに勇気を与え笑顔を取り戻す！そんな元気で活力のある次の滑川市を創造するために全力投球で頑張ります。

これからも皆さまの温かいご支持、ご声援を賜りますようお願い申し上げます。



開田あきえ議会報告



今年、不思議な天候が続いており、家庭菜園の野菜作りも大変だと聞いておりますが、全国では大きな災害に苦しんでいらっしゃる方々も沢山おられる中、滑川市は『穏やかで住みよいまち』、本当に改めて感謝して生活していきたいものと思っています。

また、昨年からの新型コロナウイルス感染症もなかなか減少しません。医療方面は『もはや災害時の状況に近い局面を迎えている』との分析をまとめたとのこと。

私たちはワクチンを接種した人も含め、マスクや手洗い、消毒、換気などがあたり前の生活習慣として新しい生活様式になり、新しい日常になるのだと思っています。一人一人が感染防止を徹底していきましょう。

さて、私ごとでございますが、平成13年11月に皆様の大きなお力とご支援を賜りまして当選させていただいて以来、議員生活20年目を迎え5期目最後の年になりました。その間、議長や副議長を5年間つとめさせていただき、現在は議会代表の監査委員を任命され職務に励んでおります。

議員活動の中では、下梅沢・千代鶴酒造さん前の横断歩道は菰原側から公民館上市側に書き換えてもらう要望から信号機設置と歩道の確保を最初に、常光寺の踏切拡幅、遮断機・警報機の設置、有金東台町内までの市道拡幅など、また、下梅沢の『レストラン 田円』さんから『生活支援ハウス ほたるの里』さんを通り江尻町内まで市道を新設してもらいました。また、有金から上島までの通学路も十数年を経てようやく事業認可になり測量が終わり地質調査も終了したと報告がありました。

私は『政治は家庭である』の精神で家の中を見渡すような心で滑川市を見てまいりました。

現在、上田市長の子ども第一主義のもと『子育てのまち滑川』を自信をもって推奨していけるものと思っています。

また、議会では「議員定数及び報酬検討特別委員会」と「情報技術調査特別委員会」の2つの特別委員会があり、それぞれの委員会を議員全員で運営し協議、調査を行っています。

・議員定数及び報酬検討特別委員会では、何らかの結論を2年間で出したいと検討を重ね、商工会議所からの要請もあり合同で協議も致しました。しかし、このコロナ禍の状況では結論を出すには時期尚早ということで、11月の改選後に改めて検討に入ることにしております。

・情報技術調査特別委員会では、議会でのペーパーレスを進めるためタブレット使用の講習会や射水市への研修会など予定しておりました。コロナ禍で延期になっておりますが、実現に向け取り組んでおり、今後の大きな課題としております。

皆さまとの約束ごととして『すべてに全力で取り組んで行きます』その想いをこれからも持ち続けて努力して参ります。

一日も早くコロナが収束し皆さまと大きな声で笑い合いたいと思っています。ぜひ皆さまも今一度感染防止の徹底を心掛けましょう。

どうぞ皆さま、開田あきえに今まで以上のご支援、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

開田あきえ

わたしは、

『響き合う、心と心の街づくり』

のために全力を尽くします。

発行所
開田あきえ事務局
滑川市有金801
TEL 076-475-1068
FAX 076-475-8609
携帯 090-1315-1068

討議資料